

第4回益城町複合施設建設検討委員会

会 議 記 録

日 時 平成31年2月18日(月) 14時～15時30分
場 所 益城町役場仮設庁舎 1F 第1会議室
出席委員 全員
事務局 6人
施設担当 3人
コンサル 3人
傍 聴 1人
マスコミ 2社
委員名簿 別紙のとおり

議事次第

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議事
 - (1) 複合施設建設基本計画(素案)について(審議)
 - (2) 今後のスケジュールについて(説明)
4. 閉会

議事要旨

議題1 複合施設建設基本計画(素案)について 【事務局説明】

- ・本検討委員会にてご審議を頂いた複合施設の機能と規模に関する事項を事務局の方で取りまとめたものである。
- ・構成については第1章～第6章の構成になっている。
- ・第1章～第4章の説明後に質疑の時間を設け、その後、第5章～第6章の説明をする。

●第1章～第4章についての説明

- ・第1章では、男女共同参画センター、益城町公民館、地域ふれあい交流館の3つの施設を複合化し、再建する背景と目的を記載している。
- ・第2章では、複合施設建設の必要性を記載している。この章では、3つの施設が平成28年熊本地震にて被災を受け利用が出来なくなったこと、そして平成30年1月に公の施設のあり方検討委員会にて3つの施設の復旧方針を町が委員会に諮問をして、複合化による再建をするべきであるという答申を受けた内容を記載している。
- ・第3章では、複合施設の位置づけと役割を記載している。まず、3つの施設のこれま

で担っていた機能や主な事業、用途を記載し、被災前の3つの施設の課題を記載している。被災前の課題としては施設の老朽化から設備や機能の劣化、また講座に関する利用者の固定化が見られていたという内容である。

・第4章では、複合施設の基本理念と基本方針を記載している。委員会の中で10年、20年先を見越した施設整備をしていくというコンセプトのもと、審議を進めてきた。それを達成するため複合施設の目指す姿を「地域を結び将来の発展を目指す地域づくりの拠点」とした。

・以上が第1章～第4章の説明となる。ここまでの内容で質疑・意見を賜りたい。

●質疑応答

▶以前見学に行った施設で、建物が出来上がった後に不具合があったという話を聞いたのだが、手直しはしてもらえるのか。

→施設は建設前なのでそのようなことがないように設計を進めたいと考えている。

▶災害への備えとして、太陽光発電を考えているのか。

→災害に備えた太陽光発電の設置なども含めたところで計画を立てている。

▶周辺環境との調和とはどういうことか。

→複合施設の建設場所は仮設庁舎付近ということもあるので、周りの色彩やデザインなどを考慮して設計するということ。

▶複合施設建設に伴い、公共交通機関の整備は考えているのか。

→公共機関をつなぐようなコミュニティバスの整備は考えていきたい。

▶備品は予算の中に組み込まれているのか。

→基本計画をもとに基本設計、実施設計と進んでいく中で備品関係の調整は行っていく。

●第5章～第6章についての説明

・第5章では、具体的に本委員会で審議して頂いた内容を記載している。構成としては第4章で述べた基本方針を実現するためにどのような計画にしていくのかを重点的に記載している。

・第6章では、複合施設の規模について記載している。益城町の将来人口と既存施設の規模から建物の規模を検証することとした。町の将来人口は益城町人口ビジョンの中で2030年までに36,000人を目標に掲げている。人口増加のために、今回の複合施設建設事業においてもその一端となるような整備をしたいと考えている。

●質疑応答

▶音声案内とは具体的にどのようなものか。

→トイレなどを利用するときに音が鳴り、目が不自由な方などにも利用しやすいようにする。

▶施設は靴で移動できるようになるのか。

→利便性から考えると靴のままのほうが利用しやすいと思われるので、設計段階でも検

討はしていきたい。

▶熊本地震により大きな被害を受けた益城町にできる施設として、地震に対する備えなどの実施した内容を分かりやすく示していくのが良いと思う。例えば、新施設が災害時にはどのような活用ができるのかという運用イメージやどれくらいの人数を受け入れることができるのかなど（通常プランとシャドープラン）を日常的に示されていると良いと思う。また、後に生まれてくる子どもたちに地震の時のことを伝えていけるようにしていけると良い。

▶四賢婦人に関する展示物などは全て新施設に移設するのか。

→複合施設においてはサテライト的な紹介をして、より詳しい情報は他の施設に足を運んでもらうようにし、益城町内での回遊を促したいと考えている。

▶P12に「見通しの良い空間づくりを目指し、犯罪の抑制を図ります。」とあるが、犯罪とはどういうものを想定しているか。

→子どもも利用する施設なので、子どもに対する犯罪抑止や犯罪につながるような出来事が起きにくいような見通しのきく施設にした方が良いと考えている。

▶各地域の各施設の方が視察に来た時に職員の皆が対応できるようなマニュアルのようなものを作成しておくのが良いと思う。

→災害時の複合施設の利用法として案を作っておくことで、ベンチかまどやマンホールトイレの認知が広まると思う。対応を日常化することが大事である。

▶研修施設や会議室を「見える化・共有化」というシステムを構築できればという話があったが、考えられていることはあるか。

→町内の公共施設を復旧させていくなかでシステムの構築は検討の方を順次していきたいと思う。

▶災害時の備えについて、施設の中に避難した時にどのように利用すればいいか分からないと思うので、災害時の施設利用イメージを設置しておくといよいのではないか。

→広安西小学校など避難所としてうまく機能した施設について検証し、新施設でどのような活用を想定するか。普段からそれらの機能に触れる機会があるのはとても良いと思われる。災害時にスマートフォンを活用してマップを見られるようにしても良い。

▶可動間仕切りの防音効果はどれくらいのものなのか。

→壁として固定されたものよりも防音性能は多少落ちるとは思われるが、ホテルの大広間などで使われる性能が高いものを利用することで対応できると思う。

▶新施設に防犯カメラはどの程度設置する予定なのか。

→運用コストや管理コストを考慮し、今後、設計業務の中で検証していきたい。

▶基本方針に反映させていただきたい内容として、P9の複合施設の基本方針の中の「基本理念② 災害に強く、備える施設」ということも重要ではあるが、災害に対する備えを学べるという内容も組み込むとよいと思う。また、災害に対する備えや新施設のレイアウトなどを行政で考えるだけでなく、住民の方々にもワークショップなどで参加してもらいたいと思う。そうすることで益城町ならではの取り組みとして残っていくのではないかと。益城町の復興の仕方や住民の方々との関わり方などが他の被災した自治体

の参考となるように取り組みを発信していけたら良い。

▶新施設は気軽に活用できる環境を整えることが大事だと思う。

→従来の利用者に加えて新規の利用者が足を運んでくれるように運用面など考えていきたい。

▶公民館が木山分館を兼ねていると思うが、新施設にもその機能は備わるのか。また、休館日についてはどうなるか。

→仮設庁舎周辺は大字木山という地区にあるので、木山分館の機能も備えつつ、中央公民館の機能も持つ形となる。休館日については他の施設の形態も参考にしながら検討していきたい。

▶新施設の周りにコンビニやレストランなどができる可能性はあるのか。

→もともと建設予定地付近は農業振興地域なので商業施設などを建てるには多くのハードルがある。本エリアは、復興計画の中の新住宅エリアに指定され、そのような施設が建設されるか、検証していき、今後のまちづくりを進めていきたいと思う。

▶以上で議題についての議論は終了とします。

審議結果

益城町複合施設建設基本計画（素案）に本日指摘の部分を加筆し、本委員会の方針として町に答申する。

議題2 今後のスケジュールについて 【事務局説明】

- ・基本計画策定については今年度中には終わらせたい。
- ・建設予定地については仮設庁舎周辺の私有地を用地取得してからとなる。
- ・用地交渉が完了次第新施設の設計業務に取り掛かりたい。
- ・今後も必要に応じては設計業務の中でも本委員会を開かせていただき、ご意見等をいただきたい。その際は、よろしくお願いします。